

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第1回登米市新図書館機能検討委員会
開 催 日 時	令和6年3月27日（水） 午後2時00分 開会 午後3時51分 閉会
開 催 場 所	中田生涯学習センター 2階 教室1
委 員 長 の 氏 名	山崎 博樹
出 席 委 員 の 氏 名	知的資源イニシアティブ代表理事 山崎 博樹 登米市教育研究会中学校国語研究部長 佐々木 貴子 登米市教育研究会学校図書館研究部長 岩淵 公一 登米市社会教育委員会議議長 阿部 洋一 登米市立図書館協議会会長 西條 正典 図書館ボランティアだっこ・ラッコ代表 富士原 抄子 伊豆沼読書会代表 及川 俊弘 一般社団法人とめ青年会議所理事長 猪股 圭太郎 公募市民 石川 幸 公募市民 佐藤 直也 以上 10名
欠 席 委 員 の 氏 名	—
事 務 局 職 員 職 氏 名	教育長 小野寺 文晃 教育部長 小林 和仁 教育部生涯学習課長 守屋 乃扶子 教育部生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長 千葉 道宏 教育部生涯学習課主査 伊東 智 迫図書館長兼登米図書館長 木村 浩之 迫図書館技術主幹 野家 文恵 登米図書館技術主幹 本間 文
議 題	(1) 登米市新図書館機能検討委員会の趣旨について (2) 新図書館整備に係るこれまでの経過について (3) 登米市図書館構想（改定版）について (4) 意見交換
会 議 結 果	別紙のとおり
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	資料1：登米市新図書館機能検討委員会の趣旨について 資料2：新図書館整備に係るこれまでの経過について 資料3-1：登米市図書館構想（改定版）の全体像 資料3-2：登米市図書館構想（令和5年10月改定版） 参 考：新図書館機能検討委員会設置要綱

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局	<p>開会に先立ちまして、委員の皆様へ委嘱状を交付します。 小野寺教育長からお一人ずつ交付しますので、名前を呼ばれましたらその場にご起立願います。</p> <p>【 委嘱状交付 】</p>
事務局	<p>それでは、只今から第1回登米市新図書館機能検討委員会を開会します。 開会に当たりまして、小野寺教育長から挨拶を申し上げます。</p> <p>【 教育長挨拶 】</p>
事務局	<p>続いて、本日出席している事務局職員を紹介します。</p> <p>【 事務局紹介 】</p>
事務局	<p>委員の皆様からは、意見交換の際にお一人お一人自己紹介も兼ねてご意見を頂戴できればと思いますので、よろしく願います。</p>
事務局	<p>それでは、次第3、「委員長、副委員長の選任」を行います。 登米市新図書館機能検討委員会設置要綱第4条の規定に基づき、委員の互選によって、委員長、副委員長を選任いただきたいと思います。 委員長選任までの間、仮議長として小林教育部長が進行してもよろしいでしょうか。</p> <p>【 異議なしの声 】</p>
教育部長	<p>委員長、副委員長の選任までの間、仮議長を務めます。よろしく願います。 委員長、副委員長の選任について、どのような方法によって選任したらよろしいかご意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>初めてお会いする方が多いので、事務局案があれば願います。</p>
教育部長	<p>只今、事務局案というご意見がありました。事務局提示願います。</p>
事務局	<p>事務局案としては、委員長に山崎博樹委員、副委員長に西條正典委員を推薦します。</p>
教育部長	<p>只今、事務局から委員長に山崎博樹委員、副委員長に西條正典委員の推薦がありました。 皆様、よろしいでしょうか。</p> <p>【 拍手による承認 】</p>

教育部長	<p>それでは、委員長が決まりましたので、仮議長の任を降ります。 ありがとうございました。</p>
事務局	<p>委員長に選任された、山崎委員は委員長席に、副委員長に選任された西條委員は副委員長席にご移動をお願いします。 ここで、委員長に就任された、山崎委員長からご挨拶をお願いします。</p> <p>【 委員長挨拶 】</p>
委員長	<p>それでは、早速議事に入ります。 「(1) 登米市新図書館機能検討委員会の趣旨について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p>【 事務局説明 ※資料1 】</p>
委員長	<p>只今、事務局から説明のあったことについて、ご質問やご意見があれば承りたいと思います。 ないようですので次の議題に入ります。「(2) 新図書館整備に係るこれまでの経過について」と「(3) 登米市図書館構想（改定版）について」は関連がありますので一括して審議します。 事務局から説明をお願いします。</p> <p>【 事務局説明 ※資料2、3-1、3-2 】</p>
委員長	<p>只今、事務局から説明のあったことについて、ご質問やご意見、感想でも結構ですので何かあればお願いします。 私の感想として、この構想は結構良くできていて、2年ほど前に行ったアンケート調査は全国的にも稀有な例だと思います。あれだけの量のアンケートを取るのあまり見たことがなく、こんなに多くの意見が住民の方々から集まるのは珍しい。全ての意見を聞くのは難しいかもしれませんが、できるだけ反映させてあげたいと思っています。 もう一つ、一昨年市内でワークショップを行いました、その結果に驚きました。私のように業界に長くいる者としても、あれだけレベルの高いワークショップはなかなか見たことがない。住民の皆さんの学習能力が非常に高く、図書館に対する思いも非常に強いと感じました。 特にないようですので最後の「(4) 意見交換」に入ります。 初めての会議ですので、全員の方に話していただければと思います。皆さんそれぞれ、図書館に対するイメージや期待、思いがあると思いますので、どんなことでも構いませんから、大体3分前後でお話しいただき、時間があれば意見交換もしたいと思います。 順番はこちらから時計回りでお願いします。</p>
委員	<p>新しい図書館は、市民の念願であり、どの世代の方々も心待ちにされているものだと思います。いよいよ建設が現実のものになることは大変喜ばしいことだと感じています。</p>

	<p>まず、読書時間が確保できないということもあるのかもしれませんが、中学生の活字離れが進んでいると感じています。小学生のうちには図書室で活発に本を借りているのですが、中学校に上がると、図書室を使っている生徒はいるものの、家で本を読むことは少なく、貸出しも少ないのが現状です。特に男子の読書離れが進んでいて、その代わりにゲームや SNS、YouTube などに時間を取られていることが心配されます。</p> <p>また、教育長の挨拶でもあったように、本との出会いが人生を変えるというのは本当に大切なことだと思います。小学校の頃に出会った本が人生を大きく変えることもありますし、スマホでは自分から調べようと思わなければ新しい本に出会うことは難しいですが、図書館や本屋では偶然の出会いがあるのが魅力だと思います。小中学生が気軽に図書館に足を運ぶことが大切だと感じています。</p> <p>基本構想の「学びと交流の拠点」という部分について、学びと交流がそれぞれ独立して成立するのか、それとも一体的に成り立つのか、その辺りが気になります。個人的には、子供たちや若者が静かに勉強できるスペースが欲しいと考えています。家で勉強できる環境が整っていない子供たちや若者にとって、図書館のような静かな学びの場が必要だと思います。都会のカフェで勉強しているように、図書館でも静かに自由に勉強できる空間があればいいなと思います。</p> <p>蔵書の数を充実させることは難しいと思うので、オンライン機能や他の図書館との連携、デジタルアーカイブを活用して充実させることが今後必要だと感じています。</p>
委員長	<p>「学びの拠点」と「交流の拠点」については、これは決して相反するものではなく、両方をうまくミックスして設置することも可能ですし、別々に設ける方法もあります。例えば、共通の部分と独自の部分があるような形で、最近では、サイレントルームや学習室を設けて、図書館で学習できる環境を整えつつ、グループ学習などの共同で学ぶスペースも用意しています。図書館では両方のニーズを満たすようにしているのが現状の傾向です。</p> <p>また、蔵書の問題についても、資料費の問題があり、全ての本を1つの図書館で賄うことは難しいため、現在は全国の図書館から資料を取り寄せることが一般的になっています。これから需要が増えれば、その問題も徐々に解決していくのではないかと思います。</p> <p>次の方をお願いします。</p>
委員	<p>本校では、図書館教育に力を入れており、毎年3月の集会で多読賞を授与しています。200冊以上読んでいる子供たちが多数おり、少ない子供でも5、60冊読むなど、図書館に積極的に足を運ぶ子供たちが多い状況です。また、上杉文庫を活用した並行読書やポップコンクールへの参加が進んでいます。学期の初めには、新しい図書との出会いがあり、子供たちは嬉しそうに新しい本を手にとっています。</p> <p>小学校としては、新しい図書館には並行読書に関連する図書を互いに活用できるようになればと期待しています。国語だけでなく、生活科に関連する調べ学習用の図書や、図工や家庭科でヒントになるような図書など、学校ではなかなか購入できない本を借りられると最高だなと常々思っています。</p>

<p>委員長</p>	<p>さらに、市内の小学校との連携を含め、次世代を担う子供たちの読書を推進する機能を持った図書館が作られると良いと考えています。</p> <p>個人的な意見としては、図書館が単に本を借りる場所でなく、メディアセンターとして、新聞や DVD、音楽などを取り扱う多用途の機能が充実すると嬉しいです。特に、小さい子供がいる家庭では、幼児用の DVDなどを気軽に借りられるような視聴覚センターのような機能があれば、市民としては非常に助かります。</p> <p>活発に活動されていて、非常に有望だと思います。公立図書館と学校図書館は、共通する部分はありますが、互いに補完し合い、連携することが重要です。</p> <p>最近、全国的に学校図書館が注目され、学校司書制度が導入されました。数年前までは学校司書という制度がなかったのですが、今は制度が整備され、進展していますので、新しい図書館では学校図書館との連携が必須になると思います。</p> <p>次の方をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>20年以上読み聞かせの活動を続けていますが、迫図書館は読み聞かせをするにはスリッパを履いて階段を上がって小さい部屋に入らなければならず、「エレベーターがあればいいね」「無理なら階段に絨毯を敷いたらいいね」なんて言いながらやってきましたが、今回念願の新しい図書館ができるということで嬉しく思っています。</p> <p>最初は図書館単体の構想だったので、たくさんの集まる部屋が欲しいと思っていましたが、複合施設となると図書館のスペースがどうなるのか気になります。登米市は図書館の職員が少ないので、公民館と一緒にするのがあれば本をどんと置いてあるだけでも十分じゃないかと思っています。</p> <p>ただ、どうしてもお願いしたいのは、お母さんと子供が気兼ねなく利用でき、声を出して読み聞かせをできるスペースをぜひ作っていただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>複合施設については、そんなに心配しなくても大丈夫だと思います。面積が3,500㎡とかなり広いので、複合的な機能を含まなくても、単独でも整備できるのではないかと思います。</p> <p>声の問題は非常に重要です。最近は静かな環境だけでなく、話ができる場所も必要です。全体を静かにするのではなく、逆に賑やかな場所を作り、学ぶ場は静かにするという傾向があります。これにより、若いお母さんたちが子供を連れて来やすくなると思います。</p> <p>よく、若いお母さんが子供を泣かせてしまって、周りの年配の方々がそのお母さんを責める場面を何度も見てきましたが、そうならないように、ぜひ新しい図書館では施設面も配慮していただければと思います。</p> <p>次の方をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>これまで図書館をよく利用してきたので、新しい図書館に大きな期待を寄せています。</p> <p>図書館は、単なる本の場所だけでなく、みんなが集まる、特に高齢者や不登校の子供たちにとっての居場所づくりとしての役割が重要だと思います。</p> <p>また、図書館は知的な部分に対する社会保障の一つとして、知的なサポート</p>

<p>委員長</p>	<p>を提供する場所として機能すべきだと考えます。家庭でも、昔とは家族構成が変わり、子供たちがゆっくりできる場所を求めるニーズが高まっています。図書館がその居場所として重要であると感じています。</p> <p>新しい図書館の検討に当たっては、これまで行ったアンケート調査などの結果を踏まえ、図書館の方向性をしっかりと考えていくべきだと思います。</p> <p>先ほどの委員が言われた学校との連携は難しい部分もありますが、登米スタイルを作るチャンスだと捉えています。</p> <p>さらに、インターネットの検索機能が進化しており、図書館も市民が自分で本を探しやすい環境を整える必要があると感じています。</p> <p>最近、サードプレイスという言葉がよく使われますが、学校や職場、家庭以外の第三の場所が必要とされています。図書館は、特に用事がなくても気軽に行ける場所で、公共施設としては唯一、何もなくても暇だから行こうと思える場所です。新しい図書館がサードプレイスとして機能できるように機能面を整備していかなければならないと思います。</p> <p>アンケートについては、公開されていること自体素晴らしい。全国の図書館にも紹介していますが、これだけ住民の意見を集め、それをまとめたことに対して高く評価されています。</p> <p>学校との連携については、私は県立図書館時代 10 年間ほど学校連携に取り組んできました。特に全国初となる秋田県の読書推進条例を作りました。しかし、学校との連携はなかなか進んでいないのが現実です。公立図書館側が積極的にアプローチし、提案することが重要だと思っています。</p> <p>検索機能については、私が現在取り組んでいるテーマの一つで、ここ 5 年ほど研究しています。これからも進歩していくので期待しててください。</p> <p>次の方をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>昨年、名取市図書館を視察してきました。ゆくゆくは図書館のボランティア活動を推進したいと考えており、名取市のボランティア活動の現状を学びに行きました。図書館ボランティアが配架作業や窓口業務、イベントの企画運営まで広範囲にわたって協力していました。</p> <p>今後、図書館ボランティアや図書館を支援する団体の活動が図書館運営の重要な役割を担うのではないかと感じました。</p> <p>また、一関図書館にも視察に行ってきました。一関市は登米市よりも広い面積を持ち、図書館が旧町単位で存在し、ブックモバイルも運営されていました。スマートシティ化していて中央図書館でいろいろなサービスを提供している名取市とは対極的な図書館でした。</p> <p>二つの図書館を視察して学校との連携が重要であると感じました。名取市では、各学校に学校司書が配置されていました。登米市にはいませんが、学校司書を配置することで、図書館と学校との連携が確実になると思います。また、名取市や一関市では、図書館内に学校支援室があり、学校との連携がうまく取れている点が印象的でした。</p> <p>図書館構想では、中田図書室と登米図書館がなくなる計画のようですが、その場合、図書館を利用できなくなる人が出てくるため、公民館の図書室を有効活用してはどうかと考えます。公民館と移動図書館を組み合わせ、隅々まで図書館サービスを行き渡らせることが重要だと思います。</p>

<p>委員長</p>	<p>さらに、秋田県で作られた読書推進条例を参考に、登米市でも読書推進条例を作れないかと考えています。そういう条例があれば、新しい図書館も、もっとうまく活用されるのではないかと考えています。</p> <p>これまでは図書館ボランティアは書架整理や本の補修が主な活動でしたが、今ではボランティアが図書館イベントの企画・運営に積極的に関わるようになっていきます。そのような図書館は高く評価されています。</p> <p>学校との連携については、秋田県では全市町村で学校図書館支援センターを設置していて、これは条例に基づいて進められました。学校との連携は難しい面がありますが、連携を進めるためには、定期的に学校司書、司書教諭、公立図書館などの関係者が集まった会議で課題を把握し、解決策を協議することが大切です。</p> <p>また、広域利用についても難しい問題です。人口減少が進む中で、ブックモービルなどのサービスが効果的かどうかは疑問があります。全国的に広域合併したので従来の図書館を廃止して中央図書館を作ることがありますが、それでは住民にとって不便になりますので、こうした課題には、複数の提案をして、その地域に適した方法を選ぶことが必要だと思っています。</p> <p>読書推進条例については、これは県議会から出てきたものですが、学校図書館の司書からの発案がきっかけです。条例ができたことで、学校司書の配置が進み、県内のほとんどの学校に司書がいる状況です。読書推進計画が既にあるのであれば、それを活用してより具体的な施策を進めることも一つではないかと思えます。</p> <p>次の方をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>子供たちには本に触れることを大切にしてほしいと思っています。最初は、極端に言うと本を投げてしまっても良いから、子供たちに本に親しんでもらうことが大切だと思っています。</p> <p>箱物ができても、そこに珍しくて行くだけではその先にはつながりません。せつかくこの検討委員会で考えたとしても先につながっていかないのではもったいない。私はこれまで子供たちが本を読む姿を見て、大人も影響を受けるということを多々見てきましたので、自分ができることをそういう形で地道に続けていきたいと考えています。</p> <p>また、市民と行政の考えがうまく伝わり合っていないと感じています。市民からはなかなか進まないという声も聞かれますが、行政の考えがうまく伝わっていないからではないかと思えます。図書館もすごく考えていろいろなことをやっているのに、その良さが目につかないのも残念です。</p>
<p>委員長</p>	<p>小さな子供を連れて図書館に行くのは、お母さんたちにとって敬遠されがちだと思います。図書館が静かすぎたり、すぐに本を選ばなければならなかったりすることが原因です。石川県立図書館のように芝生や読み聞かせ専用の庭、遊具など子供連れでも楽しめる空間があると、子供たちは帰りたがらず、逆にもっと居たがる現象が起きます。</p> <p>それが理想で図書館が小さな子供を排除するような姿があってはなりません。新しい図書館にはその点を配慮していただければと思います。</p> <p>広報については、私も公務員時代に広報の難しさを感じていました。努力し</p>

委員	<p>てもなかなか伝わらないこともあります、できるだけ伝える努力を役所もしなければいけないし、委員の皆さんも会議の様子を周囲に伝えていただければと思います。</p> <p>次の方をお願いします。</p> <p>図書館の専門家ではありませんが、資料を見させていただいて、非常に良い構想だと感じました。今の市民が求めているものだと思います。</p> <p>その上で、いくつか質問させていただきます。</p> <p>まず、構想にある「市民の学びと交流の拠点」という点についてです。各町にある公民館は、市民の交流の場として作られたものだと思いますが、新しい図書館の交流の場としての役割と公民館との差をどのように考えているかお聞きしたいと思います。</p>
委員長	<p>それについては論文も書いたことありますので私からお答えします。</p> <p>図書館と公民館の違いは、まさに機能の違いです。図書館は、基本的に本を提供し、知識を集積する場です。それがあって初めて人が来るのが前提です。</p> <p>一方、公民館は、主に会合や講演など、特定の目的があって人が集まる場所です。つまり、来る最初のきっかけが違うわけです。</p> <p>日本とアメリカの違いもあります。アメリカには公民館がなく、図書館がその機能を担っています。日本は、戦後の占領政策で公民館を自治体に作り、これが日本特有の文化となっています。</p> <p>ただ、最近では公民館に人が集まりにくくなってきました。例えば、若妻会や青年会が高齢化し、活動拠点としての機能を果たさなくなってきたのです。</p> <p>一方、図書館は目的なく人が集まる場所なので、そもそも人が集まりやすい。しかし、図書館単体では交流が始まらないので、図書館に交流機能を設けているのがその理由です。</p> <p>図書館と公民館を複合施設として整備することも多く、交流の部分は公民館の機能を使い、知の部分は図書館の機能を使って、互いに補い合う形が理想だと考えます。公民館と図書館は相反するものではなく、ニーズに応じて、利用者が気軽に集まり、活動できる場として両方をうまく活用していくべきだと思います。</p>
委員	<p>まさにそのとおりだと思います。そういったイメージがあれば問題ないのですが、公民館と同じ機能を持つものをまた作るのではもったいないと思いますので。</p> <p>続けてですが、フィンランドに世界一の図書館があるという話を聞いたことがあります。そういった図書館をモデルに登米市の図書館は取り組まれていくのでしょうか。</p>
委員長	<p>今のお話はオーディという図書館で、「Public Library of the Year Award」を受賞した図書館です。そこと比較するのはさすがに難しい。規模や予算が何十倍も違うし、まさに世界的なレベルの図書館です。</p> <p>ただ、要素としては参考にしても良いと思います。オーディは公園のような図書館を目指していて、親子連れが気軽に訪れることができます。むしろ本の数は少なく、ベビーカーを押した親子同士が話したり、父親同士が話す光景が</p>

<p>委員</p>	<p>よく見られます。さらに、ミシンやプリンターもあって、様々な活動ができます。公民館と図書館が分離されていないのも、こうした活動を可能にしています。</p> <p>全国的に見ると、参考にすべき事例はありますが、都市型と農村型では全く異なります。例えば名取市は都市型で通勤者が多いですが、農村地域ではまた別の形が求められます。登米市では、農村地帯にあるような図書館が適していると思います。</p> <p>よく子供たちから公共交通機関が少ないという声を聞いて、その解決に取り組んできたのですが、それが非常に難しいことを実感しています。そのため、新しい図書館は、子供たちやそのご両親、家族全体が利用できる施設にしておく必要があると感じています。</p> <p>その上で、基本方針③の「次世代を担う子供たちの読書を推進する」という考えには賛同していますが、具体的にどの子供たちを対象にするのか、または子育て世代を対象にするのか、その辺りをもう少し具体的にイメージする必要があると感じます。</p>
<p>委員長</p>	<p>両方です。対象としては子供だけでなく、親も含まれます。家庭内で読書をしないと、子供は本を読まなくなってしまうので、ですから、家庭で親と一緒に本を読んだり、会話を楽しんだりすることが大切です。</p> <p>例えば、全国で行われている家族貸出や、子供と一緒に読める本を整備することも一つの方法です。こういった取組はソフト面の話ですが、ハード面でも、一緒に遊べる部屋を作るなどの方法もあります。</p> <p>今後そういった点についても、積極的に提案していただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>最後にもう1点お聞きします。基本方針⑤の「登米市の魅力を発見し、発信する」の「発信」とはどのようなことをされるのでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>発信方法にはいろいろありますが、最近ではインターネット、特にデジタルアーカイブが考えられます。登米市の優れたコンテンツを全国に発信したいと考えています。そうすることで、市外や県外から多くの人を訪れるようになると思います。</p> <p>また、地域住民の誇りも大事です。子供や働いている人々が地域に誇りを持たないと、文化の発信はできません。経済だけでは誇りは持てません。</p> <p>展示会やインターネットでの提供、関連するイベントなども発信方法の一つです。ただ、単にネットで公開するだけでは利用されません。地域住民にその情報を届けることが大切です。</p> <p>意外と価値がないと思われている資料が実は後々貴重になることが多いということもあります。数十年後に重要な資料に変わることを何度も見てきました。そのため、住民の協力を得ながら資料を集め、デジタルで発信し、展示会などを住民と一緒に開催することで、地域の誇りを育てることが大事です。</p> <p>これがないと、人々は東京などに流れていってしまいます。郷土愛は古い言葉に思われがちですが、実は原点です。</p> <p>だからこそ、地域の文化を大事にしなければなりません。地域の文化は産業とは関係なく、あまりお金をかけなくてもできることがたくさんあります。それでも、一定の拠点や装置が必要なので、図書館が頑張っってこれを進め、そこ</p>

委員	<p>に地域の力を借りることが大切だと思います。</p> <p>基本方針に「発信」という文言が入ると、設備や制度に関わってくると思いましたので質問させていただきました。非常に素晴らしい方針だと思いますので、ぜひ私も関わらせていただければと思います。</p>
委員長	<p>では、次の方をお願いします。</p>
委員	<p>乳幼児にとっては、絵本が初めての読書体験になります。乳幼児向けにゆっくり声を出して読んであげられるスペースを作ることが大切だと思います。</p> <p>先日、小学生の孫が校外学習で図書館に行った際に「本がたくさんあった。でも狭かった」と言っていました。子供たちが図書館に行きたいと思えるような、広くて居心地の良いスペースが必要だと感じました。</p> <p>また、ティーンズ向けにゆっくり落ち着いて学習できるスペースや、子供を連れて自然にコミュニティができるようなスペースが必要です。</p> <p>読書に親しませるためには、長い目で見れば、小学校低学年や幼少期の図書館活用をどんどん進めることが大切です。そのためには、図書館は気軽に立ち寄ることができ、気安く入れる場所であってほしいと思います。</p> <p>また、閲覧室や学習スペース、乳幼児やお年寄りがゆったり過ごせるスペースなどのバランスをどう取るかも重要な課題です。</p> <p>そして、図書館司書についても、利用者の立場を重視した運営が問われてくると感じています。</p>
委員長	<p>今の図書館は、非常に多世代・多用途になっています。ターゲットを絞る部分があれば、世代間交流の場としての役割もあるので、非常に難しい形になっていると思います。</p> <p>これから様々な意見が出るとは思いますが、全てが大切です。ただ、全てを実現するのは難しいので、最終的には選択が必要になるかもしれませんけれども、積極的にご意見をいただければと思います。</p> <p>最後に西條副委員長をお願いします。</p>
副委員長	<p>最初の計画の際にも携わっていましたが、もう図書館ができると思っていたのに、急に計画が無くなってしまった経験があります。もしあの時、図書館が建設されていたらどうだっただろうと今でも思い返しています。</p> <p>私自身、一番気になっているのは活字の問題です。</p> <p>震災後に仕事を辞め、志津川や気仙沼で手伝いをしていましたが、津波で随分文化財や古文書などが失われています。また、処分されたりと古文書に書かれている活字が読めなくなっています。</p> <p>ブックスタート事業にも関心を持っています。子供たちが初めて活字に触れる機会を提供することが重要だと考えています。</p> <p>移動図書館の重要性も感じています。市の中心地から少し離れた地域の方たちは活字に対する餓えのようなものがあるので、ぜひ移動図書館を提供してほしいと思っています。</p>
委員長	<p>移動図書館については、今後検討が必要なものの一つですが、現代のニーズ</p>

	<p>に合うのか、他の方法があるかを考えるべきだと思っています。</p> <p>最後に、私からですが、震災の際、宮城県知事が「自分たちは記憶に頼りすぎて、記録をないがしろにしてきた」と話されました。記憶は世代を越えることが難しく、記録が残ることで歴史を伝えることができる。しかし記録だけでは意味がなく、それを伝える努力も必要です。それを担うのが図書館だと思っています。</p> <p>紫波町でも図書館開設時には住民から反対の声がありましたが、最終的には住民の賛成を得ることができました。図書館が地域にどんな役割を果たすのかを考えることが大切です。</p> <p>図書館は税金で運営されているため、地域に対してその役割をしっかりと果たさなければなりません。住民と行政だけでなく、地域全体を支援するために社会情勢に合わせたサービスを提供することが必要です。今日皆さんの意見を聞いて、改めてその重要性を感じました。それぞれの意見はとても貴重で今後の検討に活かしてほしいと考えています。</p> <p>それではこれで議事を終了します。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>山崎委員長、ありがとうございました。</p> <p>次第5の「その他」ですが、事務局からは特にございませんが、皆さんから何かございますか。</p>
委員	<p>上杉文庫については、来年度はどうなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>平成30年から5年間、多額のご寄付をいただき、小・中学校の教室と学校図書室に上杉文庫として本を配置させていただきました。</p> <p>本の購入は令和4年度で終了しており、今年度はその本を紹介するポップ創作コンクールを市内の小学校で行っています。2月に表彰式を行い、3月上旬からイオンで展示し、現在は迫図書館で展示を行っています。</p>
事務局	<p>その他、何かございますか。</p> <p>特になければ閉会に入ります。閉会の挨拶を西條副委員長お願いします。</p> <p>【 副会長挨拶 】</p>
事務局	<p>以上をもちまして第1回登米市新図書館機能検討委員会を閉会します。</p> <p>本日は大変ありがとうございました。</p>